



Change! 2022 ニュース

No. 13

Change! 2022 推進委員会 2020. 7. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「いくつかの疑問といくつかの提言」

東日本区理事

板村 哲也 (東京武蔵野多摩)



理事として、今年1年間皆さまと共に東日本区の運営を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

1997年に1,246人だった会員が22年後の2019年7月に849名となりました。32%減少しました。

会員増強運動は今に始まったことではなく、この20年間皆で努力してきました。その努力が奏功していれば、今は会員が1,500人なり、2,000人になっていたのではないのでしょうか。しかし現実逆です。2/3になりました。それはなぜでしょうか。

この20年間に社会、環境はどう変わったのでしょうか。それに対してワイズはどうだったのでしょうか。20年後、社会はどうなっているのでしょうか。またワイズはどうなっているのでしょうか。

単純計算で上記の減少率を今後の20年にあてはめると、20年後は603名となります。また別の計算では、会員の平均年齢は今65.3才ですが、新入会員がなくこれから20年たてば平均年齢は85.3才で、その間の物故者が年間10名として200名減。20年後は平均年齢85才の会員650名の組織となります。その時東日本区はどうなるのでしょうか。

会員増強は歴代の理事が取り組んでいる喫緊の最重要課題です。数が多いことそのものが目的ではありません。充実した奉仕活動のため、自分たちが余裕を持って楽しむためです。組織が大きいと、その維持管理に時間、労力、費用がかかります。少ない人数では充実した奉仕活動ができません。また一人当たりの負担が増え、ワイズを楽しめません。

価値のないところに人は集まらないでしょう。価

値が見えていないのかも知れません。また自分達は価値があると思っても世間はそうは見えてないかも知れません。平和な時代が続き、生活が向上し、精神性を求める度合いは昔より減少しているでしょう。多くの奉仕団体との競争があります。多様化社会の中でいかに見つけられ、選ばれるかが問題です。

社会的に十分な価値を生み出す。そのためには今の限られた活動のエネルギー(人、金、時間)のベクトル(力の大きさと方向)を修正せねばならないのではないのでしょうか。認知度向上には内向き(仲間向き)となっている集会、ブリテンなどを外向きなものにすることも必要ではないのでしょうか。

また、この指とまれで人が寄ってくるのを待つのではなく、自分から相手の懐に飛び込んで行くといったことも必要ではないのでしょうか。

区のいずれの事業委員会も、それぞれの担当分野はありますが、切り口が違うだけお互いに繋がっています。各事業委員会の横のコミュニケーション、連携も会員増強に必要です。

会員減少という事象に潜む膨大な量の本質的な問題点が、昨年4~5月のアンケートで指摘されています。これらの問題は一朝一夕に解決できるものではありません。また多様な要素を持つワイズでは、解決策も一つではありません。しかしワイズメンバー一人ひとりが問題に真摯に向き合い、それぞれで地道な努力をして行かねばならないと考えます。一人ひとりの変化が、また各クラブの変化が総和となってワイズ全体が変化、進化していくと信じます。

◀ 板村哲也さんのプロフィール ▶

- 1946年6月 兵庫県生まれ。阪神間で育つ。
- 1969年4月 総合商社に入社(東京、中南米勤務)
- 2011年5月 完全退職
- 2016年2月 東京武蔵野多摩クラブ入会
- 2017年7月 クラブ会長、文献・組織検討委員
- 2018年7月 区書記、Change! 2022 推進委員
- 2019年7月 次期理事 兼 国際・交流事業主任
- 2020年7月 東日本区理事

▼ Change! 2022 推進委員会の組織・事業

Change! 2022 推進委員会

委員長 栗本 治郎 (熱海)



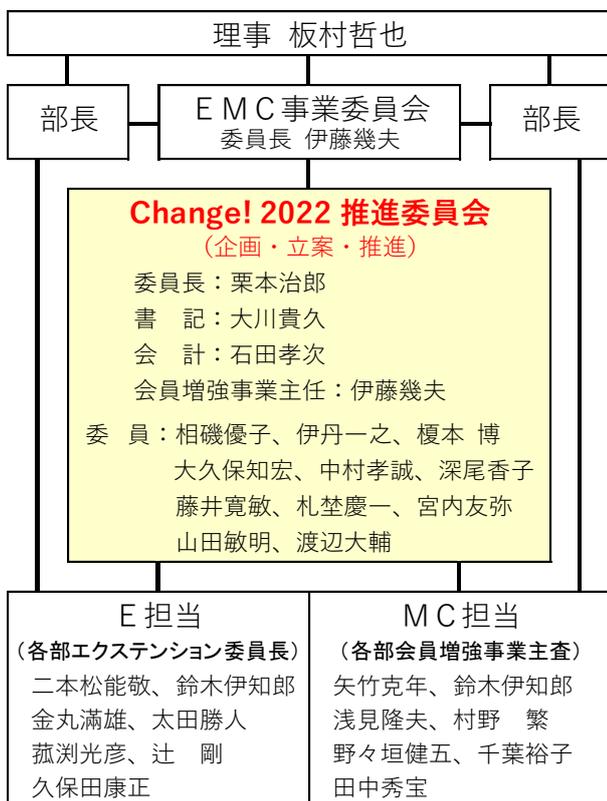
2022 年をゴールとする中期会員増強運動の『Change! 2022』プロジェクトが2年目に入りました。1年目は、コロナ禍の影響もあり成果を上げることが出来ませんでした。例会や様々な事業が中止になり、ワイズ活動自体が難しく、コミュニケーション不足による会員のドロップも危惧されます。

しかしながら、昨今多くのクラブで Zoom 等のツールを活用して、オンライン例会や役員会が開催されるようになりました。ある意味、今まで以上に会員間の交流を図ることも容易になりました。

このような状況下でも、Zoom や Facebook を上手に活用することで、ワイズを知って頂き、ワイズの協力者・理解者を増やすことが出来るのではないのでしょうか！

今月は、Change! 2022 の強調月間です。

委員会が提唱する『Change! 2022 アクションプラン』をクラブ内でご検討頂き、会員増強の機運が高まることを期待しております。(アクションプランは、東日本区 HP『Change! 2022』に掲載されています)



Change! 2022 事業計画の概要

- 5人以上の新クラブ設立の奨励。新会員候補者の情報収集
- SNS・広告の活用によるワイズ活動の情報発信→ワイズの知名度アップによる新会員の獲得
- 部エクステンション委員会の新クラブ作りの支援。新クラブ設立のためのパンフレットの作成、国際協会への手続き支援(申請書類の準備)
- 会員増強に必要と思われる事柄(EMC シンポジウムの開催等)
- クラブ目標、部目標、東日本区目標の設定→EMC 意識の向上
- Change! 2022 ニュースの発行による EMC 意識の向上

▼ 会員増強事業表彰 発表

2019-2020 会員増強事業主任

札埜 慶一 (熱海)



1年間皆様には大変お世話になりました。本来は東日本区大会で表彰させていただくべきものを紙面上となることをご容赦下さい。

前半は部大会、各クラブ例会を訪問してきましたが、後半はコロナウイルスの影響で何もできないまま活動が終了してしまい、心残りではあります。

その中で各役員、各部長、クラブ会長、EMC 主査の皆様とは交流を持つことができ、やっとお顔とお名前が一致するようになりました。これを糧に外部から見ても違和感の無い公平感のある例会を目指して、さらに前進できればと思います。今後ともよろしく願いいたします。

EMC-E 部門

- 新クラブ設立賞 (期間内にチャーターしたクラブのスポンサークラブ)
横浜つるみクラブ(2019年6月16日チャーター)のスポンサー部：湘南・沖縄部

EMC-M 部門

- 最優秀賞 (最も多くの新入会員を獲得したクラブ)
熱海 (9名)
- 優秀賞 (最優秀クラブに次いで新入会員を獲得したクラブ)
甲府 21 (8名)、東京ひがし (4名)、御殿場 (4名)
宇都宮 (3名)、仙台青葉城 (3名)
- 努力賞 (2名の新入会員を獲得したクラブ)
東京江東、東京北、東京ベイサイド
東京たんぽぽ、沼津

EMC-C部門

●出席率最優秀賞 (100%) 該当クラブなし

●出席率優秀賞 (90%以上)

下田(99%)、三島(96%)、熱海(94%)

沼津(92%)、甲府21(91%)

●ノンドロップ賞 (退会者ゼロ)

札幌、十勝、札幌北、前橋、宇都宮、足利、会津
宇都宮東、那須、もりおか、東京江東、千葉
埼玉、東京北、東京ひがし、川越、東京ベイサイド
東京、東京センテニアル、東京多摩みなみ、甲府
松本、東京サンライズ、東京たんぽぽ、富士五湖
鎌倉、横浜とつか、金沢八景、横浜つづき、沖縄
横浜つるみ、伊東、富士、富士宮 (34クラブ)

●グッドスタンディング賞 (会員15名以上達成)

東京ひがし(11名⇒15名)、沖縄(14名⇒15名)

沼津(13名⇒15名)

EMC 特別賞

●Change! 2022 ニュースを毎月発行され、会員増強
事業に多大な貢献をされました。

Change! 2022 ニュース編集長・伊丹一之さん
(東京むかで)

●国際の表彰とは別に、東日本区として期間内の会
員増強に多大な貢献をした方を表彰いたします。

飯田歳樹さん (東京ひがし) 4名

野々垣健五さん (甲府21) 4名

越智京子さん (東京たんぽぽ) 2名

+ (石巻広域へ) 1名

深澤勇弘さん (熱海) 3名

大久保知宏さん (宇都宮) 2名

荻野 清さん (甲府21) 2名

田中秀宝さん (熱海) 2名

大村貴之さん (沼津) 2名

堀口廣司さん (御殿場) 2名

▼ EMC-M部門 最優秀賞を受けて

熱海クラブ 第55代会長

ふかさわ たけひろ
深澤 勇弘



『会員数を55名にする』これが私年度の一番の大きな目標だった。熱海クラブの青少年育成事業によって地元の子供たちが立派な社会人となり、日本中に飛び立っていく様子を、より多くの仲間と共感したかったからだ。

ただ、会員数を55名にするためには11名の新入会員

獲得が必須であったが、退会者もあり、後半は新型コロナの影響で思うような活動も出来ず、9名増員するも、最終的には46名と目標には届かなかった。当初から自分でも大きすぎる目標だとは思っていたが、今となれば、大きすぎた分、9名もの新入会員と巡り会えたと感じている。

会員増強に大切なものは『本気』『知名度』『魅力』、この3つだと私は思う。いろいろな団体をみてきたが、殆どが「会員増強」と言葉だけの菜っ葉の肥やしだ。やはり会長自らが『本気』になり、先頭に立ち、実行し、旗振りをするべきだ。メンバー全員に伝わらずとも、最低限、役員までは本気なのだと、気持ちが伝わらなければならないと思う。

そして『知名度』だが、ワイズメンズクラブは他のボランティア団体と比べ、市民への知名度が低い。YMCAの知名度が高い分、一般の方もわかりづらいのだと思う。熱海クラブは、青少年育成以外にも様々な事業を行っているが、私はシンプルに、ワイズは青少年育成に力を入れているボランティア団体だと宣伝することに努めた。他の団体と住み分けを図るためでもある。

最後に『魅力』だ。高い会費を払ってメンバーになっているというステータスはもう時代遅れだ。私の思う熱海クラブの魅力とは、会員数が多いのも魅力の一つだが、著名な先輩がいて、入会すれば、その先輩方から経営学や社会での立ち振る舞い方などを学べる環境にあることだ。若い人にとっては、とても魅力を感じるのではないだろうか。今後も9名の新メンバーと合わせた多くの仲間と共に、楽しく、体を使った青少年育成のボランティアを続けていきたい。

最後に、目標には届かなかったが、私のチャレンジに協力してくれたメンバー諸兄に、改めて感謝申し上げます。

▼ EMC-M部門 優秀賞を受けて

「このようにして優秀賞を獲得した」

2019-2020 甲府21クラブ会長

荻野 清



2019-2022年度の当クラブの活動は、例年同様に密度の濃い前半と、残念ながら新型コロナウイルス感染症に伴い、ワイズダムが完全に停止した後半でした。また一方では、山梨YMCA青少年センター(旧称)が苦難を乗り越え移転(2020年4月竣工)した年度でもありました。本体名称が、山梨YMCAグローバルコミュニティ

一センターとなり、様々なプログラムのグレイドアップを図られつつあり、当クラブも関わりをさらに強く持ちつつあります。

さて本題でございますが、当クラブは数年前より、野々垣直前会長が前面へ立つ中、30名を超える会員数となり、2019-2020年度は8名の新会員獲得ができました。これは、継続中のスローガン「楽しく魅力的な例会作りによる親睦の推進」のもと、例会に誰でも参加できる参加型・開放型に起因していると考えます。そして、この年度では“クラブ紹介チラシ”【写真下】を作成し、DBC・IBCおよび新入会員獲得の活用ツールとして、幅広く使用できた点も大きいと確信しております。



販促ツールの有効活用はもちろんですが、“誰が誰を”紹介するのか? になります。小生を例にしますと、「甲府21クラブの未来を見据えて」をモットーとして、子育て世代を中心とした30歳代から50歳代をターゲットとし、友人(先輩・後輩)や知人はもとより、特に仕事関係者へのアタックを“トライ&エラー”の形で行いました。ここでは、前述した“クラブ紹介チラシ”(当クラブのG.デザイナー・山本俊一ワイズ作)の有効活用がさらに大きく、今後も各年度用チラシが確実に必要と考えております。

ワイズ創立100周年となる2022年へ向け、皆さまと共に東日本区会員増強運動を推進して、実り多いゴール年になれるよう頑張っていきたいと思います。

▼ 千葉ウエストクラブ設立経過報告

設立準備例会に出席して

Change! 2022 ニュース編集長

伊丹一之(東京むかで)

6月20日(土)13時30分より、船橋駅からほど近い船橋市勤労市民センター会議室において、「(仮

称)千葉ウエストワイズメンズクラブ」の設立準備例会が開かれました。

スポンサーの千葉クラブから移籍会員2名を含んで7名、新クラブ入会予定者4名、現・次期関東東部部長、そしてニュース取材を兼ねて伊丹が出席し、14名での準備例会となりました。

長尾昌男設立準備委員長(千葉→千葉ウエスト)の司会で、最初に本日初参加の入会予定者のために、「新クラブ設立の経緯」というスライドを上映しました。



続いて、初代会長予定の高田一彦さん(千葉→千葉ウエスト)より、新クラブについて次のような説明がありました。【写真上=新クラブを語る高田さん】
主題：ワイズ活動を通じて地域への貢献を果たす

—シニアと共に歩む活動—

—自ら楽しむクラブライフを—

1. クラブの存在意義

YMCAを通して未来を担う青少年の育成活動を支援するが、特に地域のシニア活動を意識する。

2. プログラム開発

シニアの居場所を求めて、新クラブとしてのプログラムを皆で創っていく。

3. 毎月の例会の充実

「YMCA、ワイズ理解講座」「卓話(会員の特技、趣味など)」「語らいの場」「刺激を受ける場」「自己実現のきっかけの場」

4. 船橋地区でのYMCA地域活動

「チャリティーラン」「障がい者体験教室」

引き続き、設立総会からチャーターナイト(国際協会加盟認証状伝達式)に向けての確認が行われ、設立総会は次の通りに決まりました。

(仮)千葉ウエストワイズメンズクラブ設立総会

日時：2020年7月18日(土)13:00~14:00

場所：船橋商工会議所5階501・502号室

なお、会場のスペースと3密を防ぐために、出席者は50人限定となり、一般募集はしないとのことです。